



01 開催概要

「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」でつながったことで生まれた5つのグループと自主的に活動してみたいと考えた1つのグループは、市のトライアル活動支援制度の認定を受け、実際に自分たちで考えた企画に挑戦しました。コロナ禍というご時世で、様々な制約があるなか、グループのメンバーが連携・協力して取り組みました。

さて、各グループはどんな取組をされたのでしょうか。

今号では、2月12日に東部市民センター講堂で開催された「東部地域トライアル活動実施報告会&意見交流会」の様子を通じて各グループのトライアル活動をご紹介します。

※この通信は、プロジェクトの取組状況をお伝えするとともに、より多くの仲間・応援団を集めるため作成・配布しています。

02 東部地域トライアル活動実施報告会&意見交流会の様子

各グループから東部地域への熱い気持ちをもって取り組んだトライアル活動の状況や活動への想いを参加者のみなさんに報告しました。また、スペシャルゲストとしてご参加いただきました東部まちづくり審議会の増田会長からそれぞれのトライアル活動への講評をいただきました。

意見交流会では、各々の活動を振り返りつつ、ファンレターを通じて、取組のブラッシュアップや新たなアイデアについてなど来年度に向けた話し合いが展開されました。



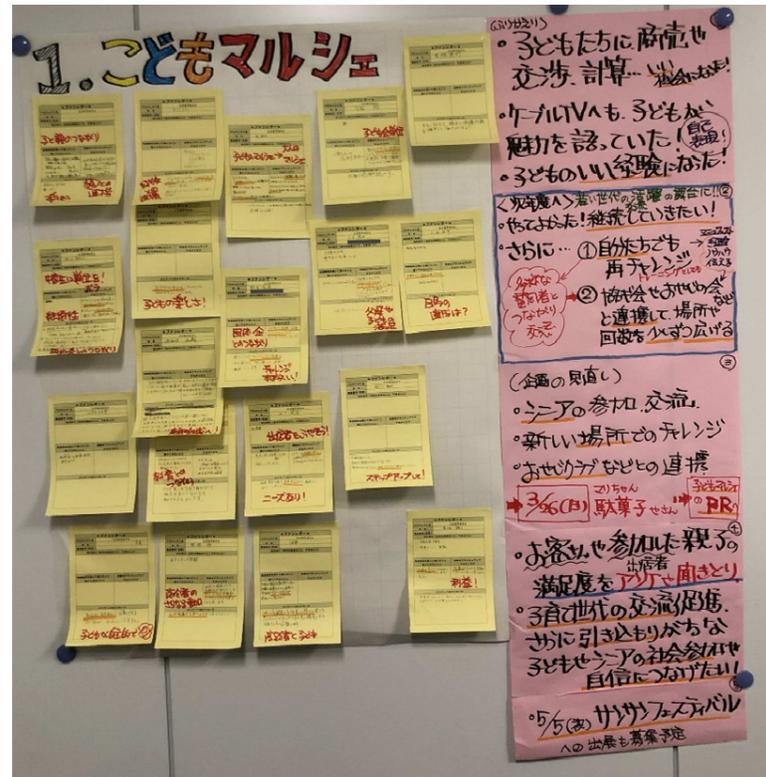
各グループの意見交流会の成果を共有した後、増田会長から以下の総評をいただきました。

- 来年度に向けて、継続が非常に大切である。正當な収益を上げて、次の展開に再投資するという経済の循環についても考えていただきたい。
- 農の歳時記を考えて一年を通じて活動できるようにすることや、デザイン・動画の編集などにプロフェッショナルな手を加えることなど、改善すべき点に留意していただきたい。
- 行政には信頼性を担保する役割を継続してお願いしたい。

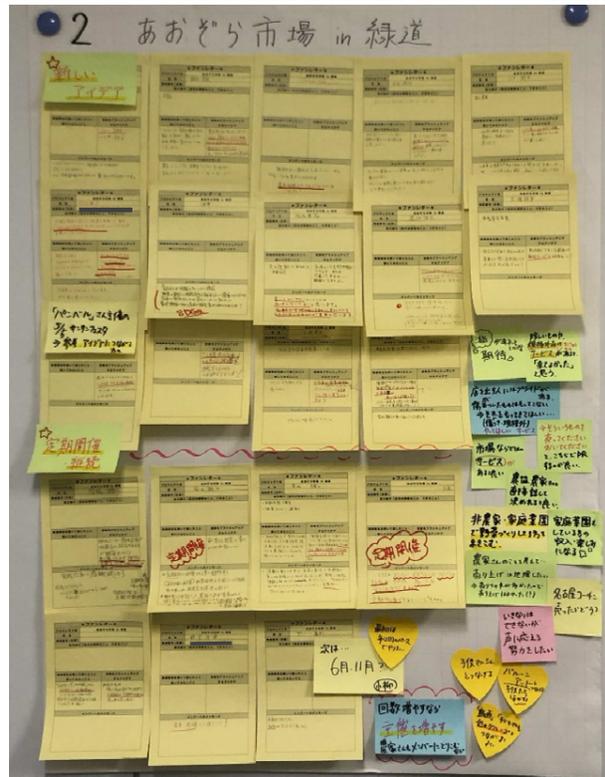
03 取組成果の報告と他の参加者からの応援コメント

グループ	こどもマルシェ	あおぞら市場 in 緑道 農産物地域内循環プロジェクト	「しのおかの桃」を使った商品開発プロジェクト	東部地域の特産物 ぶどうを広くPRしよう	動画を活用した「東部地域イメージアップ大作戦」	「地産地消プラットフォーム」の設立
成果報告 《概要》	<p>「こどもマルシェ」は、こどもが活躍する機会をつくること、親同士の交流や親への癒しの機会を提供することを目的に、12/4 大城児童館で開催されました。</p> <p>当日は、こども達が自分で価格を設定したバザールをはじめ、22のブースで賑わい、来場者は500人を越えました。来場者数、出店者数ともに目標を達成し、「また開催してほしい」という声を多くいただきました。</p>  <p>こどもマルシェ実行委員会</p>	<p>農家と地域住民との交流の創造、地産地消の促進、買い物支援を目的として、農家等の野菜を直接販売するあおぞら市場を11/27 桃ヶ丘小学校正門前の緑道で開催し、7軒の農家が出店しました。</p> <p>400人以上が訪れる、文字通り青空の下、大変な賑わいとなり、2時間ほどでほとんどの野菜が売り切れる状況でした。</p> <p>住民からは「地元で採れた野菜が手軽に購入できて嬉しい」、農家からは「地域の人に直接販売できるのは魅力」という声がありました。</p> 	<p>地域の特産物である「しのおかの桃」の規格外品を使用した商品開発を進めてきました。</p> <p>当初は桃を使ったレトルトカレーを検討していたものの、複数の問題が浮上り頓挫しました。そこで、マスターズカフェ協力のもと、桃スープのレシピを公開することとし、作り方の動画を発信しました。</p> <p>あおぞら市で試食会を実施したところ、「すごく美味しい」「自分で作ってみたい」という声をたくさんいただきました。</p>  	<p>小牧のぶどうを東部地域以外の人にも知ってもらおうと、ぶどうのつるを使ったクリスマスリースを作るワークショップを企画しました。</p> <p>ぶどう農家の協力も得て12/11にワクティブ小牧で開催し、参加者11組の親子に、ぶどうのクイズ、クリスマスリース作りを通じて、小牧のぶどうのファンになってもらうことができました。</p> <p>また、活動を通して、地元のぶどう農家と協力関係できたことは、大きな成果といえます。</p> 	<p>東部地域の魅力を発信するため、ドローンによる空撮を織り込んだ4つの動画(小牧ワイナリー編、四季の森編、ふれあいの森・兒の森編、桃花台編)を作成し、市公式YouTubeチャンネルで公開しました。</p> <p>また、動画の拡散をねらい、SNSを活用した「指先ボランティア」を実施しました。多くの市民等にご参加いただくため、指先ボランティアの啓発チラシを作成し、小牧駅前配布活動を行いました。</p> <p>プロジェクトを通じ地域の多くの人を巻き込む重要性を感じたので、今後は大学生など若い世代との連携、SNSの更なる活用を検討していきたいです。</p> 	<p>地域の特産品レシピを地域で共有する「地産地消プラットフォーム」をオンラインで設立しました。</p> <p>現在の参加人数は13名で、小牧市東部産の食材を使ったレシピ、メニュー、商品を紹介するとともに、コメントで地域交流も可能になっています。</p> <p>また、地元の食材を使った調理と試食を楽しめるオフラインイベントも開催しており、2/5には東部市民センターで、小牧の郷土料理「ひきずり鍋」をつくるイベントを開催しました。</p> 
ファンレター (応援コメント)	<p>○こどもだけでなく、地域のイベントとして実施したのが良い。</p> <p>○こども中心の元気なまちづくりのため、桃花台全体で実施していただきたい。</p>	<p>○緑道をうまく活用できている。今後色々なことができそう。</p> <p>○小牧の美味しい惣菜やスイーツの販売も行くと若い人が来てくれそう。定期開催できると良い。</p>	<p>○大変面白い試みだった。農家と一緒に取組を進めてほしい。</p> <p>○小学生・中学生に桃を使った給食レシピを募集すれば、斬新なアイデアが出てきそう。</p>	<p>○こどもを対象にすることで親世代も取り込めて良かった。</p> <p>○地域愛につながる活動に感謝。ぶどう棚の下でワークショップが開催されたら良いと思う。</p>	<p>○いつもの風景を違う視点(空)から見ることで、新しい魅力を見つけられそう。</p> <p>○楽しめる動画で、知らない場所もあり、行ってみたい所も増えた。</p>	<p>○オン・オフラインの併用はとても面白く、機会があれば参加したい。</p> <p>○今後の展望として、地産地消クッキングを行い、東部地域の食材をアピールできると非常に良いと思う。</p>

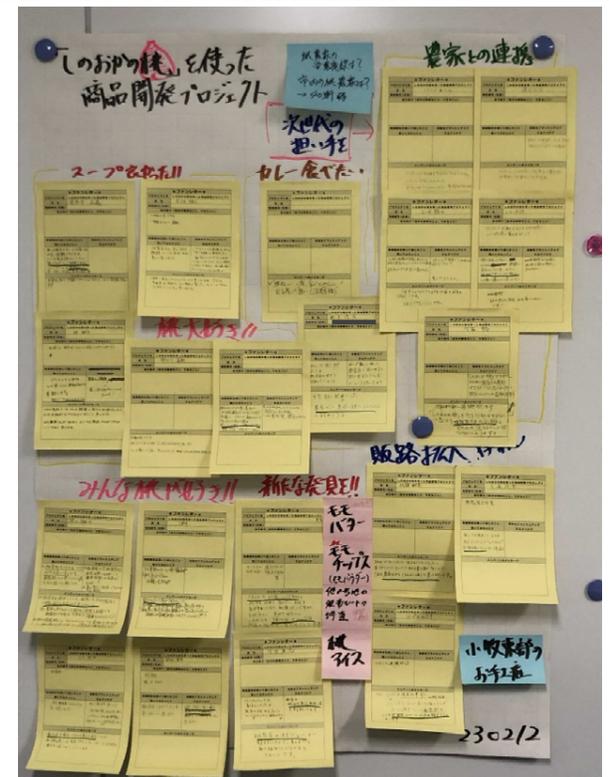
グループ1 こどもマルシェ  
(こどもマルシェ実行委員会)



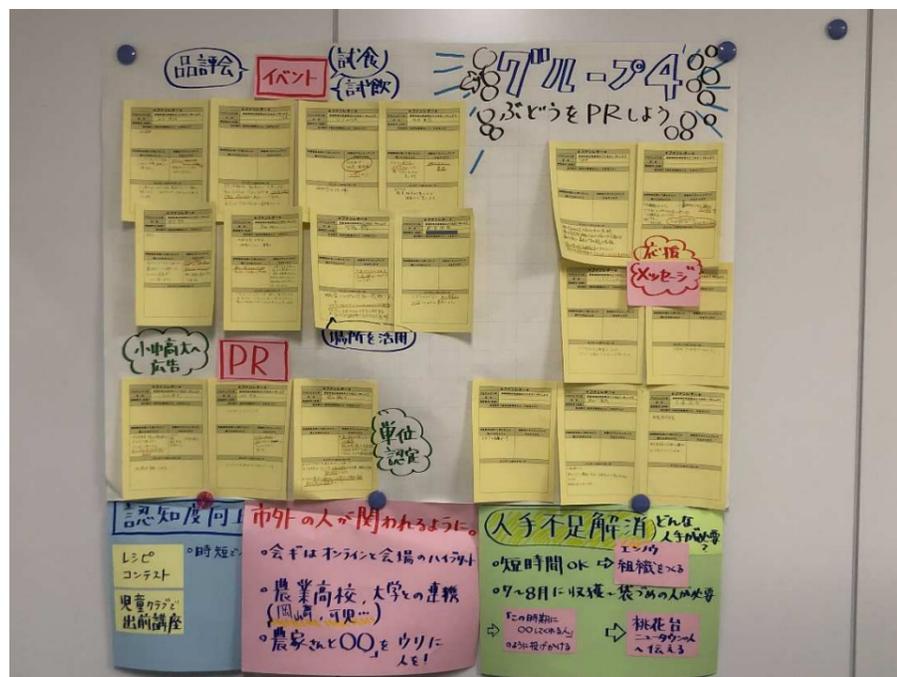
グループ2 あおぞら市場 in 緑道  
(桃ヶ丘小学校区地域協議会)



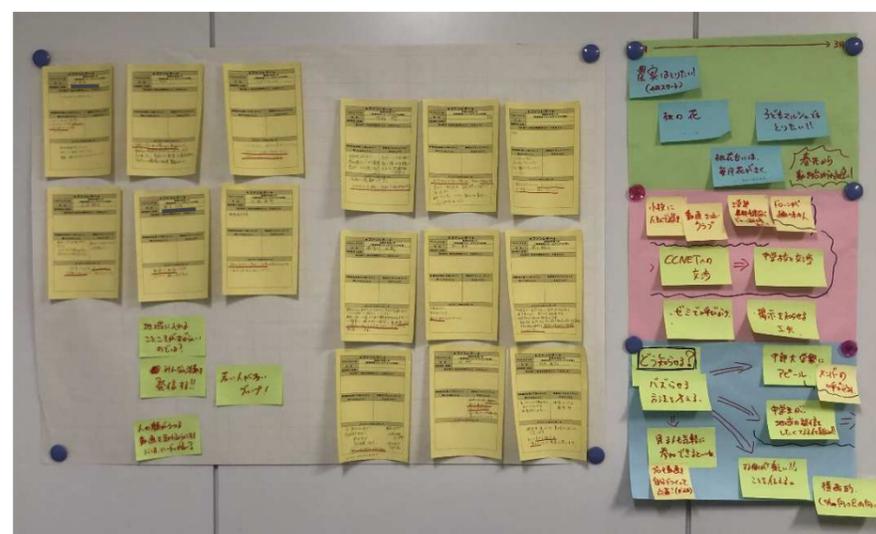
グループ3 「しのおかの桃」を使った商品開発プロジェクト  
(しのおか商品開発チーム)



グループ4 東部地域の特産物ぶどうを広くPR使用  
(東部地域特産物PR隊)



グループ5 動画を活用した「東部地域イメージアップ大作戦」  
(東部地域イメージアッププロジェクト)



グループ6 「地産地消プラットフォーム」の設立  
(地産地消チーム)

